

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/05/23号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

中国需要不安の緩和で底固い

NY原油先物相場は、1バレル=115.56ドルまで値上がりして3月24日以来の高値を更新した後、103.24ドルまで急反落するも、再び110ドル台まで切り返す不安定な値動きを繰り返した。週前半は中国で新型コロナウイルスの感染被害終息への期待感が広がったことで、需要不安の緩和が戻り高値更新を促した。しかし、その後は米政府がベネズエラに対する制裁緩和に踏み切る可能性が警戒されたことに加えて、株価が不安定化したことが嫌気され、売買が交錯する展開になった。乱高下を繰り返しながら、緩やかなペースでコアレンジを切り上げる展開が続いている。ドル高が一服したことはポジティブ。

中国では上海市が5月16日、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少していることを受けて、6月に段階的に行動規制を緩和していく方針を示した。6月中旬から下旬にはロックダウン（都市封鎖）の完全撤廃を目指しており、短期需要トレンドが上向きに転換するとの期待感が相場を下支えした。中国経済の減速感は否めないが、非鉄金属や鉄鉱石相場なども安値修正の動きを見せている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月13日時点）は、原油が前週比339万バレル減、ガソリンが478万バレル減、石油精製品が124万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需要不安の緩和と供給不安の高まりで堅調か

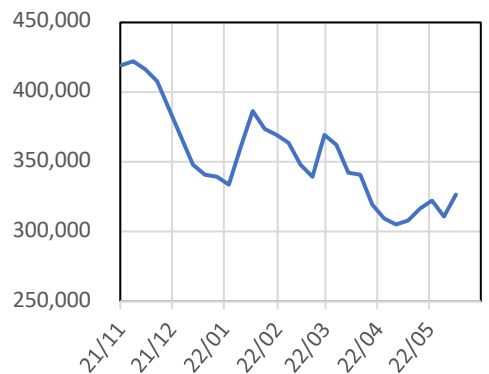
中国の需要環境改善期待から、底固い展開が続こう。先行き不透明感は強いが、このまま新型コロナウイルスの感染被害が終息に向かえば、経済活動の正常化が原油需要を押し上げる。今後はドライブシーズン入りすることもあり、需要サイドに対する信頼感が強まり易い。ロシア産の供給不安が維持されていることもあり、乱交下を繰り返しながらもコアレンジ切り上げが打診されよう。110ドル台定着から3月24日高値116.64ドル突破の有無が問われる。

欧州連合（EU）のロシア産原油禁輸を巡る議論は、ハンガリーの反対が続いていることで合意に到達していない。ただ、依然として合意形成を目指して調整が続いていることに加えて、ドイツなどは禁輸措置の議論とは関係なくロシア産の調達量削減を進める方針を示している。時間の経過とともにロシア産原油の排除が進む見通しであり、需給ひっ迫見通しは維持されている。EUが禁輸措置で合意できると、原油相場の上昇が勢いづき易くなる。

米国ではガソリン小売価格が連日の過去最高値更新となっており、政治対応の必要性が高まっている。5月17日にはバイデン政権がベネズエラの石油産業に関連した制裁緩和に動いていると複数のメディアが報じたことが、原油相場の急落を促した。ガソリン価格（原油価格）鎮静化のための政治的アクションが活発化するリスクには注意が必要な状況になっている。

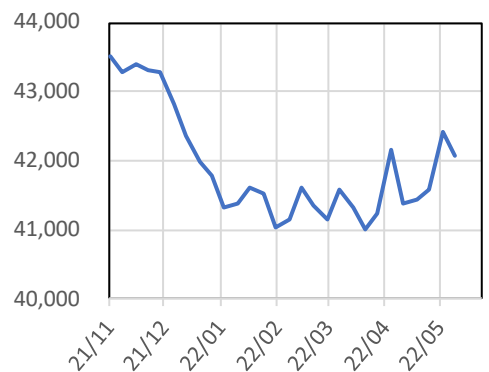
また、米株式相場の軟化傾向が続いており、投資家のリスク選好性の後退が更に進むと原油需給に関係なく下振れするリスクを抱えている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



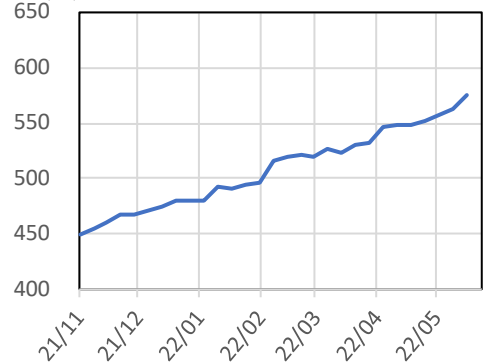
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

